

2019年度 高齢者等見守り活動の取り組み報告書

2020年5月吉日

生活協同組合コープあおもり

理事長 小池 伸二

生活協同組合コープあおもり（以下、「当生協」という）は、2014年2月に青森県と「青森県における『高齢者等見守りの取組』推進に関する協定」を締結いたしました。その後、県内各自治体との協定の締結を順次進め、2015年9月までに県内全40市町村と高齢者等見守り協定を締結するに至りました。

2019年度の1年間（2019年3月21日～2020年3月20日）は、高齢者等見守り活動を通して75件行政等へ連携し、高齢者やその家族が安心して暮らせる地域社会づくりへの支援を推進してきました。

当生協での2019年度の高齢者等見守り活動について、以下のとおり報告いたします。

1. 市町村別・年代別の行政への連絡件数について

市町村	性別	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明	総計
青森市	男性	2	1	2	1	2	1	9
	女性			1	3	2		6
八戸市	男性		2	1	1			4
	女性		2	8	3			13
弘前市	男性	1	11	1	2			15
	女性	2	2	1	4	3		12
黒石市	女性				1			1
平川市	男性				1			1
	女性			1				1
むつ市	男性				2			2
	女性				1	1		2
つがる市	女性				1			1
藤崎町	女性				1			1
五戸町	男性				1			1
南部町	男性			1				1
	女性				3			3
板柳町	男性				1			1
おいらせ町	女性				1			1
総計	男性	3	14	5	9	2	1	34
	女性	2	4	11	18	6	0	41
	男女合計	5	18	16	27	8	1	75
全体割合	男性	4.0%	18.7%	6.7%	12.0%	2.7%	1.3%	45.3%
	女性	2.7%	5.3%	14.7%	24.0%	8.0%	0.0%	54.7%
年代別割合		6.7%	24.0%	21.3%	36.0%	10.7%	1.3%	100.0%

(1) 年度別の行政への連絡件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
連絡件数	31件	33件	62件	56件	70件	75件

(2) 月別連絡件数

市町村	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	20年1月	20年2月	20年3月	総計
青森市	1	4	1		1		1	3	1	1	1	1	15
八戸市	2	1	1	1	3	2		1		4	2		17
弘前市	2	3	6		3	1		5		6	1		27
黒石市							1						1
平川市				1				1					2
むつ市	1						1				1	1	4
つがる市	1												1
藤崎町		1											1
五戸町			1										1
南部町							1	3					4
板柳町										1			1
おいらせ町					1								1
総計	7	9	9	2	8	3	4	13	1	12	5	2	75

- 1) 2019年度は、商品お届け時にいつもと違う状況や異常と察知し、行政に75件の連絡を行いました。2014年度に協定を締結して以来、連絡件数が最も多くなりました。
- 2) 市町村別の連絡件数は、弘前市が27件（前年差+2件）と最も多く、次いで八戸市が17件（前年同数）、青森市が15件（前年差+6件）でした。年間で12市町村の行政と連絡連携を取りました。前年からは2市町村減少しました。
- 3) 年代別では、80歳代が一番多く27件で、70歳以上で51件となり、全体の約68%を占めました。前年からは70歳代は11件減少しましたが、80歳以上は14件増加しました。
- 4) 月別連絡件数は、11月13件、1月12件で連絡件数が多く発生しました。
- 5) 男女の割合は、男性が約45.3%、女性が約54.7%で僅かに女性が高くなりました。

2. 対応の状況について

- 1) お亡くなりになられていた方が3人おられました。商品お届け時に前週お届けの商品がそのまま残っており、当生協の担当職員が異常と感じて行政に連絡後、包括支援センター職員と別居している身内の方で訪問したところ、亡くなられていたとの報告がありました。
- 2) 無事を確認できた事例は54件でした。外出等により前日お届けしたお弁当がそのまま残っていたことから、当生協の担当職員がいつもと違う状況と判断し、対応した事例が多く発生しました。うち1件は意識があったものの、アパートの外に倒れていたため自宅へ運んだ事例がありました。
- 3) 入院されていた事例は12件でした。入院される前にお弁当のお届けを休止する連絡をされていなかったため、前日お届けしたお弁当がそのまま残っていたなどの事例になります。
- 4) 行政への連絡後に緊急搬送した事例が5件ありました。行政や身内の方が自宅を訪問したところ倒れていた事例が3件、骨折して動けなくなっていた事例が1件、体調不良で動けなくなっていた事例が1件ありました。
- 5) 商品お届け時に、周辺から助けて欲しいと声が聞こえ見に行ったら、用水路に転落していた事例が1件ありました。担当職員が用水路から引き上げご家族に連絡し、ご家族の方が付き添って病院へ行った事例がありました。

3. 特徴的な事例と行政への連絡について

- 1) 当生協の配食サービスは、週3日間以上からお弁当の配達を行っていることから、前日お届けしたお弁当の取り忘れ等、いつもと違う状況を察知する場面が多く、配食弁当の利用者で行政に連絡した事例が46件あり、全体の61.3%となりました。
- 2) 当生協では、担当職員から異常発見の報告を受けた場合に、個別の判断を入れず行政に速やかに連絡しています。
- 3) 商品のお届けを担当する職員は、「認知症サポーター養成講座」を受講し、高齢者等見守り活動に取り組んでいます。
- 4) むつ市で、前日の商品が残っていたため行政へ連絡し、行政から息子さんへ連絡を取り、自宅に見に行ったら倒れていて緊急搬送された事例と、前日お届けした弁当が残っていたため行政へ連絡を取り、無事が確認できた事例があり、むつ市長から感謝状をいただきました。

以上、2019年度の高齢者等見守り活動のまとめを報告させていただきます。当生協は、このまとめをもとに、2020年度においても地域の高齢者等見守り活動の取り組みを推進し、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会づくりを支援していく所存でございます。

今後とも、何卒宜しく願い申し上げます。

以上